

悪用厳禁

女性心理を支配して
あなたに惚れさせる
禁断の
LINE術

LINE

LINEは女性との 関係性を深める大切なツール

LINEは好きな女性とあなたを繋ぐ“**大切なツール**”の1つ。

LINEが続かなければ、そもそもデートに誘うことすらできません。

でも、このLINEがなかなか厄介ですよネ。。

なかなか会話が続かなかったり、いい感じに連絡が続いてと思ったら急に返事が冷たくなったり、最後には既読スルーされたり・・・

やっとの思いでLINEを聞いて何通かやりとりをしたものの、まったく脈なしな感じで既読スルー・・・

そんな経験があなたにもあるのではないのでしょうか？

でも、そんな過去はもう忘れてください。

実は、LINEは“**たった1つのルール**”さえ守っていれば良いんです。

ただそれだけで、**どんな相手だろうと心の奥にある“恋愛スイッチ”をカチッと押し、短期間でデートに繋げる**ことができます。

それどころか、**自分からデートに誘わなくても、相手からデートの提案をしてくる・・・**なんてことも可能です。

もちろん、

- ・どんな内容を送ろうか・・・
- ・どのくらいの頻度で連絡を返せばいいんだろう
- ・デートを誘ってもやんわり断られる
- ・既読スルーされる

なんて悩むこともなくなります。

それではさっそく「**女性の心理を支配してあなたに惚れさせる禁断のLINE術**」ということで具体的なお話しをしていきたいと思うのですが・・・

その前に【**既読スルーされる男が無意識にやっている8つの間違い**】についてお話しさせてください。

なぜ、最初にそんなお話をするのかと言うと、既読スルーされる原因の中で最も多いのが、

・よかれと思ってやっていることが実は逆効果になって既読スルーされている

というケースだからです。

自分は「モテる行動だ！」と思っているのにその行動のせいで相手に嫌われてしまう・・・

そんなのツライじゃないですか。

なので、まずは間違った認識を正すという意味でも

【既読スルーされてしまう男が無意識にやっちゃっている8つの間違い】をお伝えしていきますね。

既読スルーされる男が 無意識にやっている 8つの間違い

・ 間違い 1 : 3 行以上のLINEを送っている

まず最初に確認したい間違いは長文LINEです。

LINEでメールのような長文を送っているのであれば、それは絶対にやめましょう。

なぜなら、LINEは会話（コミュニケーション）のツールであって、手紙を書くツールではないからです。

好きな女性に色々と伝えたいという思いから、LINEが長文になってしまう気持ちはわかります。

ただ、それは会話（コミュニケーション）ではありません。

相手のことをしっかりと考えて、適度な長さで、気軽に返信できる文章量を常に心がけてください。

目安は「**3行以上のLINEは送らない**」です。

すべてのLINEでというわけではありませんが、3行以上の文章だと少し重たい感じになってしまいます。

前提として、LINEは「**会話**」です。

実際の会話でも目の前で一人だけぺちゃくちゃ話しているような人とは、あまり付き合いたくないですよ。

その話が全て自分に興味があることだとか、めちゃくちゃ面白いとかならそれでも大丈夫ですが、それってかなり難しいと思います。

ですので、LINEも「会話」ということを意識して、相互に、かつ気軽にコミュニケーションをとることを意識してくださいね。

・ 間違い2：挨拶LINEを送る

挨拶メッセージは一見すると無難な感じがしますが、これも危険です。

自分の立場で考えてみて欲しいのですが、好きでもない人から

「おはよう」

「今日もお疲れ様」

などなど、当たり障りのない挨拶メッセージが頻繁に送られてきたらどう思いますか？

「え、なにこの人？」 「なんか怖い…」とちょっと面倒くさく思ったり、何なら恐怖すら感じますよね。

基本的に**無難なメッセージは不要なメッセージであることがほとんど**です。

まだ自分に興味を持ってくれない女性に対して、不要なメッセージを送るのは“面倒くさい男”だと思われるのでやめましょう。

・ 間違い3：マメな男がモテと思っている

「マメな男がモテる」

あなたも一度は聞いたことがあるかもしれません。

でも、ちょっと考えてみてください。

これも【間違い2】と近い内容ですが、あなたは好きでもない人から頻繁に連絡が来て嬉しいですか？

100歩譲って連絡が来ること自体は少し嬉しいかもしれませんが。

ですが、連絡がくるだけで相手のことを好きになったりは、間違ってもないですよ？

むしろ、好きでもない人から頻繁に連絡が来たら、ウザい・面倒くさいと思うはずです。

ただ、これが好きな人や気になっている人からの連絡だったらどうでしょうか？

そうなんです。嬉しいはずですよ。

つまり、巷で言われている「マメな男がモテる」というのは、

自分に惚れた女性・自分を気になっている女性にマメに連絡を返すことで「自分に惚れている女性がますます舞い上がって、自分のことをもっと好きになる」

って意味なんです。

興味もない状態で、これをやっても逆効果でしかありません。

ですので、マメに連絡を取ることで女性を落とそうと思うのは止めましょう。

・間違い4：「LINEが続いている＝いい感じ」だと思っている

好きな女性とLINEが順調に続いていたり、返信が早かったりすると、「こいつ、俺のこと好きなんじゃね？」なんて思ったことはありませんか？

ですが残念ながらLINEが続いているというだけでは「好き」というわけではないんです。

なので、LINEが続いていても「なんで？この前までいい感じだったのに…」という具合に、急にLINEの返信が冷たくなったり、返信がなくなったり・・・

ということになってしまうわけです。

その理由は「**LINEの返信が来る（LINEが続く）＝好意がある**」ではないからです。

相手からの返事が早かったり、頻繁に連絡が返ってくるからといって、「こいつ、俺のこと好きなんじゃね？」と浮かれないようにしましょう。

・間違い5：返信が来るように質問を入れて返している

「質問を入れてLINEをすると返信が来やすい」

LINEやメールのテクニックとして、あなたも一度は聞いたことがあるかもしれません。

それを真に受けて、たとえば、

男「いつも休みは何してるの？」

女「えー友達と飲み行くことが多いかな」

男「いつもどの辺で飲むの？」

女「基本、地元で飲むことが多い！」

男「お酒強いの？」

なんてLINEをしていませんか？

確かに返信はしやすいので、最初は返事が来るかもしれませんが。

でも、仲良くもないのにこんな質問ばかりされたら怖くないですか？

それってただの尋問ですよ？

冷静に考えてみてもらえれば、少なくとも心地よい「会話（コミュニケーション）」とは程遠いことがわかってもらえると思います。

間違いなく何通かやりとりしてブロックリスト行きです。

「じゃあ、どうしたらいいの？」

という答えは、次ページの【間違い6】で詳しく説明しますね。

・ 間違い6：聞き上手はモテと思っている

世間では聞き上手がモテると言われていますが、それを鵜呑みにしてしまうのも危険です。

これは【間違い5】と繋がる話なのですが、ただ質問してその答えを聞くのが聞き上手なわけではありません。

本当の聞き上手というのは、**質問をほとんどしなくても相手から心地よく自分の話をしたくなるような人のこと**です（要するに「**聞き出し上手**」なんです）。

ここを勘違いしてしまうと、質問ばかりして来るただのキモい人になってしまいます。

では、どのようなことをすれば相手の方から心地よく自分の話をしたくなるような本当の意味での聞き上手になれるのか？

そのポイントは**“共感”**です。

たとえば、こんな感じ。

男「いつも休みは何してるの？」

女「先週はスノーボー行ってきた！」

男「うわ！めっちゃいいね！この時期の雪はフカフカで気持ち良さそう！」

女「フカフカで最高だった！でも途中で吹雪いてきてやばかったー」

男「吹雪くと辛いよね。俺は雪降ったらすぐ休憩所に避難する笑」

女「わかる！そんで寝る笑 ○○君はよくスノーボーやるの？」

見てわかるように共感してあげるだけで、質問をしないのに会話が盛り上がっていますよね？

アメリカの有名な心理学者ウィリアム・ジェームズも

**「人間の持つ感情のうちで最も強いのは、
他人に認められることを渴望する気持ちである」**

と言っているように人は共感してもらいたい生き物です。

ですので、共感してあげることで、自然と相手から聞いてもない話をしてくれます。

また質問を繰り返すのはダメだと言いましたが、連続で質問しても良いケースもあります。

それが**話の流れに沿った質問**です。

たとえば、さっきの例だとスノボーの話をしているので、

女「先週はスノボー行ってきた！」

男「うわ！めっちゃいいね！もうこの時期だと混んできた？」

みたいな感じです。

話に沿った質問をする場合でも、質問の前に**“共感”**をするようにしてください。

【共感＋話の流れに沿った質問】

この流れが本当に大切です。

ですが、ここでも「なんであんたにそこまで言わなくちゃいけないの？」と思われるような質問はしないように注意してください。

あくまで自然な流れで聞いてもおかしくない範囲の質問を心がけてくださいね。

・間違い7：LINEスタンプを使っている

LINEスタンプって面白かったり、可愛いのがあったり、使い勝手も良くていいですね。

でも、狙っている女性とLINEをするときは、あまりスタンプを使わない方がいいです。

スタンプを送ってくる男性に対して「男なのにスタンプなんか送ってきて気持ち悪い・・・」と印象を持ってしまう女性が一定数いるからです。

また、スタンプを送ること自体は良くても、そもそもスタンプは好き嫌いが激しいものです。

自分が面白い・可愛いと思っていても、そんなことは相手からしたらまったく関係ありません。

特にヤバいのはウケ狙いにいったようなスタンプに対して「この人、よく変なスタンプ送ってくるけど何なの？全然面白くない・・・」と思われてしまうこと。

たかがスタンプの使い方一つですが、そのせいで「**センスないな**」という印象を与えてしまう**危険性**があります。

まだ「**センスないな**」で済めば良いですが、「何こいつ、気持ち悪っ・・・」と思われる可能性すらあります。

そんなリスクを冒すくらいだったら、最初から使わない方がいいです。

ですが、1つだけ使っても問題ないスタンプがあります。

それは**相手が使ってきたスタンプ**です。

相手が使ってきたスタンプは持っていなかったとしても買って使ったりするだけで話題にもなります。

また、「同じものが好き＝趣味が合いそう」といったように、好きな女性に好印象を与えることができます。

・ 間違い8：優しい男がモテと思っている

「優しい人が好き」

女性に好きなタイプを聞くと、必ずと言っていいほど返ってくる回答です。

ですが、その言葉を表面だけ受け取り、好きな女性にただ優しく接するのは絶対にNGです。

あなたも経験があるかもしれませんが、相手のことを想ってどんなに優しく尽くしたとしても、

「優しくて良い人だとは思うんだけど・・・恋愛対象には見れない」

そんな結末を迎えてしまいます。

優しいだけでは女性の心は奪えないんです。

好きなタイプは「優しい人」なのに、なぜ女性は優しくしても振り向いてくれないのか？

その理由は、優しくするだけでは感情の振れ幅がないからです。

人はドキドキするから恋に落ちます（吊り橋効果なんて呼ばれたりもしますよね）。

そのドキドキというのは、振れ幅があればあるほど激しくなります。

モテる男は「**下げて上げる（イジって→褒める）**」が**上手い**と、聞いたことはありませんか？

実は、師匠が抜群に上手いのが、この「下げて上げる」なんです。

「下げて上げる」というのは、相手の気持ちが下がるようなことを言って、そのあとすぐに気持ちが上がるようなことを言うやり方です。

たとえば、「**見た目はバカそうなのに、意外と頭いいよね笑**」といった感じですね。

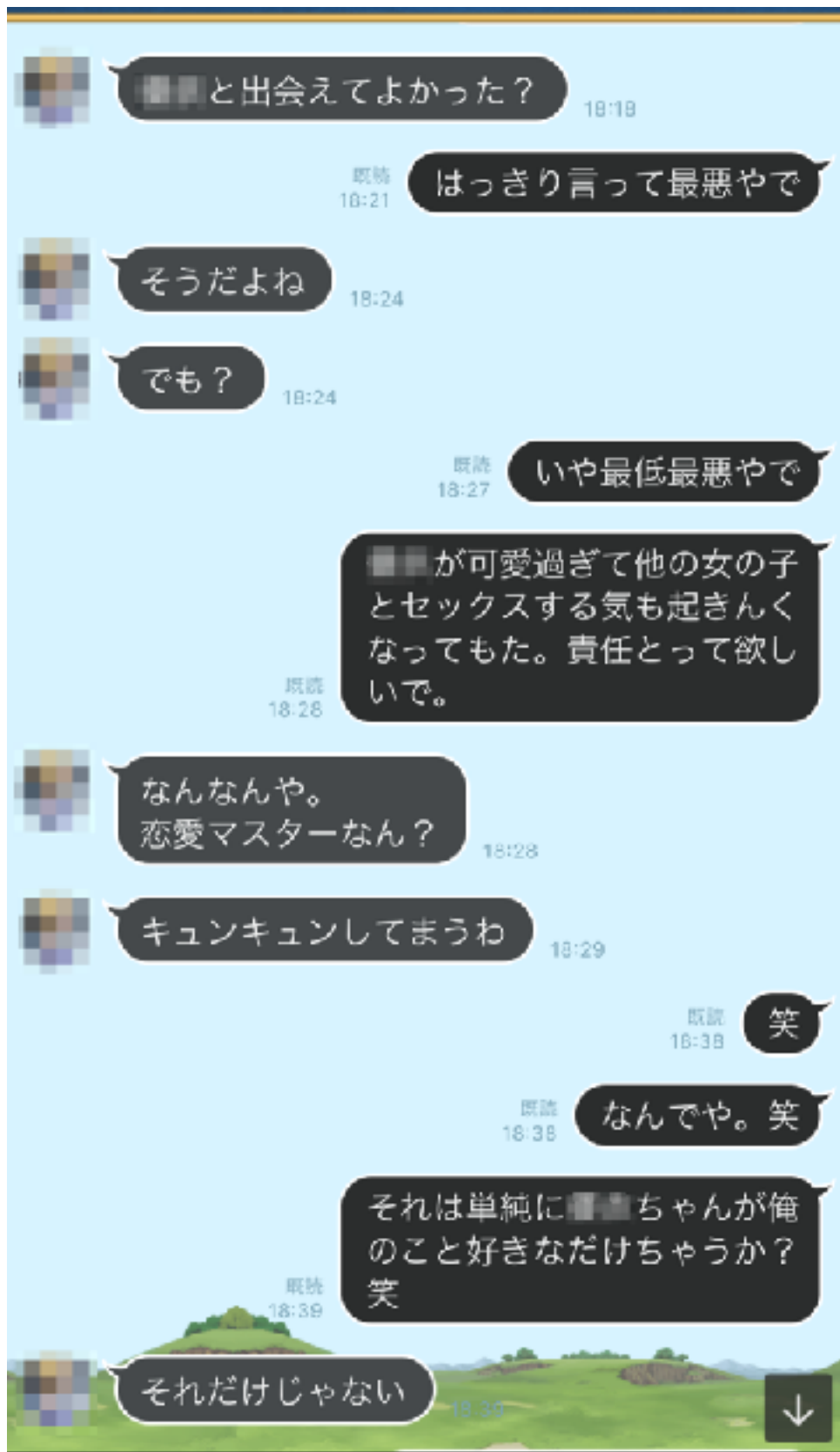
「イジって→褒める」ことで、普通に褒めるよりも振り幅を作って、ドキドキ感を増幅させているわけです。

ここでのポイントは、最後を褒めて終わらせることです。

そうすることで最後に褒めた印象の方が強く残るからです（これを逆にしてしまうと、下げた印象が強くなり、相手の心には不快感が残ってしまいます）。

こういった「イジって→褒める」のやりとりを、普段の会話だけではなく、LINEでも随所に取り入れていくことで、感情の揺さぶりをかけることができます。

また、他にも以下は実際の僕のLINEのやりとりですが・・・↓



こちらも一度落としてから上げることで、普通に褒めるよりも振り幅を作っているのがわかってもらえると
思います。

なので、ドキドキしてしまうわけです。

優しいだけではドキドキさせられない。

優しいだけでは惚れさせられないんです。

LINEだけではなく、普段の会話でも同じことが言えますので、これだけは覚えておいてくださいね。

次のページからは「**あなたが既読スルーされる本当の原因**」というテーマについてお伝えしていきますね！

あなたが既読スルーされる 本当の原因とは？

「既読スルーされる男が無意識にやっている 8 つの間違い」についてお話してきましたが、思い当たることはありましたか？

世の中の的にモテる行動と言われていることでも、状況によっては「やってはいけない行動」になることもあるのがわかってもらえたと思います。

そして、こういった間違いが起こってしまうのには、全てに共通している“**ある原因**”があります。

まさにそれこそが既読スルーされてしまう本当の原因であり、LINEをする上で**本当に大切な本質とも言える部分**です。

既読スルーされてしまう本当の原因は・・・

それはずばり、**“距離感”をきちんと意識できていないから**なんです。

「え？距離感ならしっかり取ってるよ？」と思ったかもしれませんが、実際に意識できている人はほとんどいません。

もちろん、距離感それ自体は理解していると思います。

ですが、これがLINEになると気軽にやり取りができるため、距離感が近くなったと勘違いしてしまい、

・ **誘うべきでないタイミングでデートに誘うLINEを送ってしまう**

・ **まだ仲良くもないのにキモいと思われる文章を送ってしまう**

こういったことで失敗してしまう人が多いんです。

では、LINEにおける適切な距離感を掴むには、どうすれば良いのでしょうか？

それは**相手の好意レベルに合わせて変えていく**必要があります。

女性の好意レベルは大きく分けて以下の5段階。

- 1：好き**
- 2：気になっている**
- 3：普通**
- 4：興味なし**
- 5：嫌い**

基本的にLINEをし始める段階の好意レベルは【興味なし】（良くて【普通】）の状態から始まることが多いです。

たとえば、あなたに【興味なし】の状態にも関わらず、

「いま何してるの？」

「今度、飲み行こうよ！」

などといきなり誘っても、来てもらえるはずはないですよね？

ですが、男性の多くは好きな女性を前にすると自分への好意レベルが正しく認識できず、下心丸出しのLINEをしてしまうことで、

「何こいつ、いきなりキモッ！」

「なんか怖い…」

と思われて、嫌われてしまうんです。

つまり既読スルーされてしまう本当の原因は、**好意レベルを上げることをすっ飛ばして、まだ仲良くなっていない（好意レベルが低い）段階で仲良くなった（好意レベルが高い）後に送るべきLINEを送ってしまっているから**に他なりません。

ただそれだけなんです。

そして、これこそが**LINEだけで好意を持たれる男と、LINEだけで嫌われる男の最大の違い**とも言えます。

また、僕の読者さんからこういった質問も多いです。

「え、でも何通もLINEして仲良くなったのにデートに誘って断られたり、急に冷たくなって既読スルーされたこともあるけど、それはなんで？」

気を使っても意味がないので正直に言いますが、**それは仲良くなった気だけで、実際に仲良くなった（好意レベルが高い）わけではないから**です。

LINEが続いていると勘違いしてしまいがちなのですが、**【LINEの返信が来る（LINEが続く）＝仲良くなった（好意がある）】**ではありません。

もちろん、その場合もありますが、ただLINEが続いているだけというケースがほとんどです。

このあたりは上でもお伝えしましたよね。

そして、たとえLINEが続いたとしても、ただ闇雲に何の戦略もなくLINEをしているだけでは、好意レベルが上がることは絶対にありません。

好意レベルを上げていくためには、そのときの**相手の好意レベルに応じて送る内容を変え、チクチクと女性の恋愛感情を刺激していく**必要があります。

チクチクと恋愛感情を刺激していくことで心の奥にある**“恋愛スイッチ”をカチッと押すことができる**んです。

ここまでの話を聞くと「なんか難しそう・・・」と思うかもしれませんが、そんなことはありません。

ここまでゴチャゴチャ話して来ましたが、あなたのやることは、実にシンプルです。

つまり、

- 1：恋愛レベルを正確に見極める
- 2：恋愛レベルを下げずに上げていく

たったこの2つだけです。

それぞれ順番に説明していきますね。

1：恋愛レベルを正確に見極める

LINEで相手の好意レベルを見抜くためにまず確認したいポイントが、“**相手からメッセージが来るか来ないか**”です。

相手から突然メッセージがくるのであれば、【気になっている】もしくは【好き】の確率が高いです。

逆に、相手からメッセージが来ないのであれば、まだ【普通】以下のレベルだと考えてください。

「相手からメッセージが来ることはないけど、いい感じにLINEは続いてるよ？」

というときでも、相手からメッセージが来たことがなければ、「【普通】のレベルなんだ」と思ってください。

先ほども言いましたが、**【LINEの返信が来る（LINEが続く）＝仲良くなった（好意がある）】**ではないからです。

何度も言いますが、LINEの返信が来るのは、好意があるからではありません。

ここを勘違いしてしまうと、まだ送るタイミングではないLINEを送って、せっかく【普通】レベルにいるのに【興味なし】【嫌い】まで**好意レベルを下げてしまう原因**になってしまいます。

また、【普通】か【興味なし】との見極め方ですが、これは既読スルーの頻度で確認できます。

「既読スルーや返信が遅いのは興味なし？」と思うかもしれませんがそんなことはありません。

1度や2度の既読スルーや返信が遅いことなどは、特に気にする必要はないんです。

人それぞれライフサイクルがあるので既読スルーや返信が遅くなってしまうことは、好意がある段階であっても全然あり得ます。

たとえば、社会人であれば、休憩の合間にLINEを確認して返信しようと思ったけど、急に上司や同僚に話しかけられて返信できなかった・・・なんてことも考えられますよね。

ですが、既読スルーが何度も続いたり、1～2通で既読スルーされるようなら、まだ【興味なし】状態だと思ってください。

ただ、今は【興味なし】状態でも、好意レベルに見合うLINEでコツコツ評価を上げていけば何の問題もありません。

【興味なし】からでも『普通→気になっている→好き』とLINEだけで振り向かせることも十分に可能です。

その点は安心してくださいね。

ただ、【嫌い】と認識されてしまうと、それがちょっと難しくなります。

もしも1通も返信がなく既読スルーされている状態なのであれば、それはもう【嫌い】と認識されている可能性があります。

ただ、あなたもそうだと思うのですが、人を嫌いになることなんて滅多にないと思うんですよ。

それが連絡が全然返って来ない状態【嫌い】になるということは、

- ・ 好意レベルの合わないLINEをしてしまった

- ・ しつこくLINEしてしまい恐怖心を与えてしまった
- ・ 強い不快感を与えてしまった

など、何らかの原因があるはずです。

自覚したくないとは思いますが、現状を素直に受け入れ、まずは連絡を控えましょう。

ブロックされていないのなら、まだまだチャンスはあります。

ただ、しばらく連絡を取るのを控えてリセットする期間は必要です。

最低でも1ヶ月以上は日を置いてから、またLINEを送ってみてください。

2：恋愛レベルを下げずに上げていく

今、自分はどれくらいの恋愛レベルなのかを把握したら、あとはそれに合わせて恋愛レベルを下げずに上げていくだけです。

そもそもLINEの目的は、

- ・この人とは話が合うな
- ・優しくて居心地いいな
- ・ちょっと会ってみたいかも

と、「**あなたは〇〇な男なんだ**」と良いイメージを持ってもらうこと。

そのために重要なことは**相手に波長を合わせていくこと**です。

相手が（笑）とかwとか使わない文章なのにあなたは付けていませんか？

顔文字やスタンプを使わない女性に対して、顔文字やスタンプを使ったメッセージを送っていませんか？

細かい部分ですが、こういった部分の積み重ねであなたのイメージは作られていきます。

他にもたとえば、長文LINEばかり送っていたら、

- ・ いちいち長文送って来るから、私も長文で返信しないといけない気がするし、返信が重い
- ・ 単純に読むのも返すのもめんどくさい
- ・ なんかガッツいて来てて怖い
- ・ うざっ

こんなことを思われて当然です。

もちろん、相手が長文を送ってきたときは、それ相応の長さで返してあげた方が良いでしょう。

この場合は、相手の熱量に対して同様の熱で返した方が良いでしょう。

たとえば、愛犬が死んでしまって悲しいと女性から長文を送って来ているのに、「それはヤバイね」だけ返すのが良くないのは容易に想像できると思います。

また、よく「**LINEの返信のタイミングはいつが良いですか？**」という質問をされますが、これも同じです。

相手の返信が1時間おきなのであれば、1時間おきに返す。

1日おきなら1日おきに返す。

5分おきなら5分おきに返す。

きっちり同じ時間を空けて返した方がいいということではなく、同じような波長で返信をするということです。

たとえば、相手が1日おきの返信の場合、「1日おきのやりとりは少ない！もっとやりとりしたい！」という気持ちもわかります。

好きな人ならなおさらですね。

ただ、それは好意レベルが上がっていけば、自然とやりとりの頻度が多くなるので大丈夫です。

まずはとにかく**“波長を合わせる”**ということを意識してくださいね。

恋愛レベルを下げずに上げていくためにはこの意識が重要になります。

いよいよ次のページから**好意レベルを上げていくための具体的な方法**についてお伝えしていきますね。

好意レベルごとの対策

LINEで好意レベルを上げる方法

好意レベルを上げていくためには、**相手の感情を揺さぶるようなLINEをする必要**があります。

上でもお伝えしましたが、人は感情が動くから恋に落ちます。

なので、LINEで好意レベルを上げていくためには、感情を揺さぶるLINEが重要になってくるわけですね。

そして、感情を揺さぶるLINEをするために一番大事なのが、**“相手の立場になって考える（客観視）”**ということです。

- ・ 嫌いな人からしつこくLINEが来たらどう思うかな？
- ・ 興味ない男からこんなLINEきたらキモいかな？
- ・ 気になっている人からなんて言われたら嬉しいかな？

などなど・・・

要するに、「このメッセージを送ったら相手はどう思うのかな？」と想像を巡らせることが何よりも大切なんです。

好きな女性なんだったら尚更、頭が痛くなるほど相手の気持ちを想像してあげてください。

それが何よりも重要な最初の一步です。

当たり前と言え、当たり前なのですが、その当たり前をできていない人が多過ぎます。

「相手の立場になって考える（客観視）」は**全ての好意レベルにも共通して言える**ことなので、忘れずにしっかりと頭に入れておいてくださいね。

次ページからは「**既読スルーされないための第一声**」というテーマでお話ししていきますね。

既読スルーされないための第一声

LINEで最初に悩むのが第一声ですね。

連絡を取りたいけど、きっかけがなくて「なんて送ろう・・・」とスマホの前で頭を抱えたことがあなたにもあると思います。

僕もこれまで何度悩んだことか・・・笑

ですが、そんな悩みとは今日この場を持っておさらばしてください。

第一声も好意レベルさえわかっているならば、それぞれの好意レベルに合わせたLINEを送るだけで返信率をグッと高めることができます。

次ページからそれぞれ順番に見ていきましょう。

・ **【好意レベル：興味なし】の第一声**

好意レベルが【興味なし】の場合は、まだ友だちと呼ぶのにも少し距離のある状態なので、

- ・ 好意が伝わるようなLINE
- ・ 必死感（がつついてる感）
- ・ ソワソワ感

が伝わるようなLINEはしないよう気をつけてください。

【興味なし】状態のときは、必ず正当な理由をつけてLINEをしましょう。

たとえば、

男「〇〇ってチワワ飼ってるよね？」

男「俺もチワワ飼おうと思ってるんだけど、チワワってけっこう吠える？」

といった具合に相手の趣味や相手が知っていることに対して、**相談する**というスタンスだと返信をもらいやすいです。

正当な理由がある相談であれば、嫌われていない限り普通に返信してくれます。

そもそも人間は潜在的に「誰かに認められたい」という承認欲求が強いので、頼られることに不快感を持つ人はいません。

「でも、そこからデートに繋げるの難しくない？」

と思うかもしれませんが、**【興味なし】と思われる状態ではそもそもデートに誘うのは難しい**です。

なので、**【興味なし】**段階ではデートに誘うことは一切考えてはいけません。

まずは自分を「知ってもらう・仲良くなる」ことを意識してLINEをしましょう。

この段階では、**女性との共通点を1つでも多く見つけていくという意識が大切**です。

共通点があればあるほど親近感を覚えて距離がグッと近づきます。

焦らず、慌てず、一段一段、好意レベルを上げていきましょう！

・ **【好意レベル：普通】の第一声**

好意レベルが【普通】の場合は、あなたは少なくとも友達レベルだと思われています。

ですので、いきなりデートに誘ったりするメッセージ以外は気軽に送ってしまっても大丈夫です。

ここでは返事が来やすい、おすすめの話題3つをご紹介しますね。

1：以前に話していたことに関する話題

男「この前、話してた映画もう見た？めっちゃ面白かったよ！」

このように「めっちゃ面白かったよ！」などに入れることで、**「一緒に行きたい」という下心はないと判断される**のでおすすめです。

相手がまだ見についてなかった場合は、
女「え、どうだった？やばい観たい！」

相手がもう見ている場合は、
女「私もみた！めっちゃ〇〇カッコよかったー♡」

みたいな感じで自然に会話を広げられます。

2：相手が興味を抱きそうな場所に関する話題

男「ねー見て！すごい綺麗なイルミネーション見つけた＋（写真）」

などと、**相手が興味ありそうな話題の場所と、その写真を送る**のも効果的です。

女「え、めっちゃ綺麗！これどこ？」

男「〇〇ってところ！どっかイルミネーションとか行った？」

女「行く人いないから行ってない笑」

こんな感じで返信が来るはずです。

女性は基本的に話題になっている人気の場所が好きです。

- ・ 美味しいご飯屋さん
- ・ 話題のスイーツ店
- ・ 話題のスポット
- ・ キレイな場所
- ・ インスタ映えしそうな場所

相手に合わせて、一番興味がありそうなものをチョイスして送ってみてください。

話題の場所を送るのは、相手から「行ってみたい」という言葉を引き出せる確率が高く、デートに繋げやすいのでおすすめです。

ポイントは**“最初から誘わない”**こと。

あくまで相手から「行ってみたい」という言葉を引き出すようなLINEを組み立ててみてください。

3：共通の話題

たとえば、

男「久しぶり！最近も相変わらずスノボーやってるの？」

女「去年も今年も行けてない…」

男「あ、そうなんだ！俺はこの前行ってきたよ！」

女「いいな—どこのスキー場行ったの？」

男「〇〇スキー場！最近、なにやってるの？」

上のやりとりのように、

- ・ 仕事の話
- ・ 趣味
- ・ 友達

など共通の話題は気軽に返事ができるので、1通目のLINEとして会話が続きやすいです。

ここでも大事なのは「あ、こいつデートに誘ってくるんだな」と一発目で悟らせないような内容にすることです。

女友だちと連絡を取るような自然な感じで**下心のないLINE**を心がけてください。

下心が感じられただけで女性は抵抗を示してしまい、それが既読スルーに繋がってしまうからです。

・【好意レベル：気になっている・好き】の 第一声

【気になっている】 【好き】 のレベルになると、正直どんなLINEをしても返信は来るので、そんなに悩む必要はありません。

完全に【気になっている】 【好き】 のレベルだなと確信があるのであれば、

- ・ 今、何やってんの？
- ・ 来週の土日は何してる？

など、いきなりデートに誘ったとしても、相手は逆に嬉しいので何の問題もありません。

ただ、**好きな状態だからと言って、何をやっても好意レベルが下がらないというわけではない**んです。

好意レベルが下がる代表的な例が、デートに誘って断られたときにしつこくすること。

たとえば、

男「いま何やってんの？」

女「いま友達と飲んでるー」

男「何時に解散するの？」

女「終電では帰るかな！」

男「そのあと、少しだけ飲もうよ」

女「ごめん。明日も仕事だし、また今度でもいい？」

男「えー1時間でもいいから飲もうよ」

のようにつこくしてしまうと、余裕がない印象を与えてしまい「この人なんか違うな…」と好意レベルが下がってしまいます。

大前提として、**女性は基本的にモテる男が好き**です。

実はこれは誰も並んでいないラーメン屋よりも、行列をなして並んでいるラーメン屋の方が「美味しいのかも？」と思ってしまう心理に近いです。

人は自分で決断したくない生き物なので、第三者からの意見（行列ができるくらい人気）で自分の中の評価を決めることが多いんですね。

「隣のラーメン屋の方が他の人から人気がある→そのお店の方が美味しいのかも」となるわけです。

これは心理学の用語では「**フォールスコンセンサス効果**」と呼ばれています。

自分の意見・考え・行動が、常に多数派で「正常である」と思い込む傾向を指します。

楽天やAmazonなどのネットショッピングサイトで、第三者のクチコミを見て、買うか買わないのかを判断するのもこの効果が影響しています。

これを人に当てはめると以下ようになります。

「モテる男→他の女性から人気がある→この人ってすごく良い人なのかも」と思われるわけですね。

ただ、この場合の「モテる男」というのは、実際にモテているという意味ではなく、モテている風な雰囲気や振る舞い、あるいは態度で形成されます。

雰囲気から醸し出すというイメージです。

「女性にがっついていない余裕のある男」と言い換えても良いかもしれません。

ですので、今回の場合であれば、「じゃまた今度テキストに誘うわ！仕事頑張って！」などと返信するのが正解です。

そうすることで余裕のあるモテる男を演出することができます（しつこい男はどう考えてもモテる要素がないですからね）。

次ページからは第一声を超えたあと、**どのようにしてLINEで会話を広げていくのか？**についてお話ししていきますね。

話を広げていく3つのポイント

好意レベル別の第一声をマスターしたら、次はどうやって話を広げていけば良いのでしょうか？

第一声は上手くいっても何通かLINEをしたら返事になかったり、夜の寝るタイミングに「おやすみー」などと会話を強制終了されてしまったり、なかなか連絡を取り続けるのって難しいですね。

既読スルーや強制終了されずにLINEを続けるためには、ポイントが3つあります。

その3つのポイントさえ押さえていれば、簡単にLINEを続けることができます。

それが、この3つ。

- 1：ダラダラ連絡を取らない**
- 2：共感＋あるある**
- 3：自己開示**

それぞれ順番に説明していきますね。

1：ダラダラ連絡を取らない

LINEを続ける上でまず大事なポイントは“**ダラダラ連絡を取らない**”ということ。

- ・ 何通かLINEをして返事がなくなった
- ・ 夜の寝るタイミングに「おやすみー」などと会話を強制終了されてしまった

これらの原因は全てここにあります。

ダラダラ連絡を取らないというのは、簡単に言えば、**“何通も何通も同じテーマ（話題）でやりとりしない”**ということです。

たとえば

男「超可愛くない？（+寝ている犬の写真）」

女「メッチャ可愛い〜」

男「見てるだけで癒される」

女「確かに癒さる〜」

男「何時間でも見てられるわ〜」

女「わかる〜！」

男「これとかも最高（+犬の別写真）」

こんなLINEは絶対NGです。

退屈でしかありません。

「お前、いつまで犬の話してんねんッ！！！」

ってなりますよね。

同じ話題で何通もやりとりをしていると、

「この人つまんないな…」

「連絡を取っても時間の無駄だな…」

と判断され、既読スルーや強制終了されてしまいます。

なので、基本的に同じテーマのLINEは3通、多くても4通までにとどめておきましょう。

そして、その間に少しずつ話を広げていき、どんどん次の話、次の話へと乗り移っていくのがベターです。

「でも、どうやって話を広げていけばいいの？」

そこで重要になってくるのが“**共感＋あるある**”です。

2：共感＋あるある

広げていくと言っても、少し前でもお伝えしましたが会話を無理やり続けようと質問攻めにするのは絶対NGです。

それは会話が盛り上がっているとは言いません。

ただの尋問です。

では、どうしたらいいのか？

そこで大事になってくるのが、**“共感＋あるある”**です。

上の方でも話したので復習のようになってしまいますが、たとえばこんな感じ。

男「いつも休みは何してるの？」

女「先週はスノーボー行ってきた！」

男「うわ！めっちゃいいね！この時期の雪はフカフカで気持ちよさそう！」

女「フカフカで最高だった！でも途中で吹雪いてきてやばかったー」

男「吹雪くと辛いよね。俺は雪降ったらすぐ休憩所に避難する笑」

女「わかる！そんで寝る笑　〇〇君はよくスノーボーやるの？」

質問をしてないのに会話が盛り上がっていますよね？

アメリカの有名な心理学者ウィリアム・ジェームズも

**「人間の持つ感情のうちで最も強いのは、
他人に認められることを渴望する気持ちである」**

と言っているように人は共感してもらいたい生き物です。

ですので、共感してあげることで、自然と相手から聞いてもない話をしてくれます。

あなたもそうだと思いますが、あなたの話に共感されて嫌な気分はしないですよね？（わざとらしいのは別ですが・・・）

ですので、まず相手の話に共感してあげることが重要になります。

とは言っても、「うんうん、そうだよね」共感しているだけでは、ただ話を聞いてくれるだけの人になってしまいます。

なので、そこに“**あるある**”を入れて返信していきます。

“**あるある**”を入れて返信するというのはどういうことかと言うと、

「そうそう！」

「あーわかる！！」

と反応したくなる内容を入れて返信することです。

そして、そこでも重要なのが“**相手の思っていることを想像してあげる**”こと。

どんなことを返信すれば「そうそう！」と思ってもらえるのかを想像して、共感と合わせて送ってみてください。

「この人、私のことわかってるー！」

「この人、話が合うかも！」

と信頼関係を構築していく上でも効果的です。

3：自己開示

そして3つ目のポイントは**自己開示**です。

自己開示とはその名の通り、「自分のあらゆる情報を開示（見せる）すること」を指します。

では、なぜ自己開示がポイントなのかというと、それは相手のことを深く知るためです。

人には「人から何かしらの施しを受けたとき、お返しをしなくては申し訳ないという気持ちになる」という性質があります。

心理学ではこういった性質を「**返報性の法則**」とも呼びます。

その性質を利用するわけです。

つまり、まず自分から心を開いて自己開示することで「相手が心を開いて話してくれているから、お返しに

私も心を開いて話さなきゃ」と思わせるイメージですね。

この方法を使えば、簡単に相手の趣味・趣向や好きなもの、嫌いなものを聞き出すことができます。

相手の趣味・趣向や好きなもの、嫌いなものなどといったデータ（情報）は恋愛を有利に進めていくために必要なカードです。

たとえば、以前に彼女が好きだと言っていたものを覚えておけば、相手は当然嬉しいでしょう。

その勢いのままデートに行く約束を取り付けることも可能です。

あるいは、「嫌いな食べ物」を聞いておいたら、さりげなくデートの時に嫌いな食べ物を避けておく（レストラン側に苦手なものとして事前に伝えておく）といったスマートな対応をすることもできるはずです。

ガンガン自己開示して、好きな女性のカードを集めていきましょう。

次ページからいよいよ最終章です。

女性からデートに誘わせるズル賢いLINE術について
具体例を交えながらお伝えしていきますね。

女性からデートに誘わせる ズル賢いLINE術

LINEの始め方もわかった。

話を広げながら好意を上げていく方法もわかった。

そうしたら、あとはLINEの最終目標であるデートを取り付けるのみ。

・・・と言っても、デートに誘う段階が一番難しいですよ。

- ・断られたらどうしよう
- ・どこ誘えばいいんだろ
- ・どうやって話を切り出せばいいんだろ

緊張するし、怖いし、悩めば悩むほどドンドン不安になっていく気持ち・・・すごくわかります。。

できることなら、

「女性の方からデートに誘ってきて欲しい・・・」

僕も何度そう思ったことか。。

でも、安心してください。

そんな都合の良い方法があるんです。

師匠がこれまで1000人以上の女性と連絡を取ってきた中で、女性の方からデートに誘ってくる方法を編み出してくれました。

僕自身が真似してやってみたところ、同じように成果を出せたので再現性は僕が保証します。

この方法を使えば、「デートを誘って断られたらどうしよう・・・」という恐怖から解放されます。

「デートの場所はどこがいいかな・・・」なんて考える必要もなくなります。

そして、**女性からデートの誘いが来て、気がついたらデートが確定**している。

そんな夢のような状態を“狙って”作り出すことができます。

僕は、その方法を **【WTG戦略】** と名付けました。

横文字にしてカッコ良く言いましたが、相手に「行ってみたい！（want to go）」と言わせることをゴールに、そこから逆算して会話を組み立てていくという至ってシンプルな戦略です。

逆算と言っても、**ただ女性が好きそうな場所＋その場所の魅力が伝わる写真**を送るだけ。

たとえばこんな感じです↓

<ご飯に誘いたいとき>

男「今日、食べたモツ鍋が人生で一番ウマかった！」

男「（モツ鍋の美味しそうな写真）」

女「えーめっちゃ美味しそう！この時期、鍋は最高だよね！どこの？」

男「ここだよ！（+食べログのURL）」

女「えー行ってみたい」

<映画に誘いたいとき>

男「これ、めっちゃ面白そうじゃない？」

男「（予告動画）」

女「確かにおもしろそう！」

男「しかも〇〇（相手が好きな俳優）も出てるんだよ」

女「えーそうなの！めっちゃ行きたい！」

<話題の場所に誘いたいとき>

男「ここ行ったことある？」

男「（話題の場所写真）」

女「何ここ！楽しそう！」

男「メッチャ楽しそうだよね！最近オープンしたっぽいよ！」

女「へー！行ってみたーい！」

「本当にこんな簡単に上手くいくの？」

と思うかもしれませんが大丈夫です。

上手くいきます。

少なくとも直接デートに誘うよりも確率が高いのは間違いありません。

女性の好きそうな場所で言うと、このあたりが鉄板でオススメです。

- ・ 美味しいご飯屋さん
- ・ 話題のスイーツ店
- ・ 話題のスポット
- ・ キレイな場所
- ・ インスタ映えしそうな場所

仮に、すぐに「行きたい！」というLINEが来なかったとしても問題ありません。

なぜなら、女性が好きそうな場所＋その場所の魅力が伝わる写真のLINEは相手に不快感を与えるものではないからです。

要するに、**ノーダメージでデートの提案ができています**ことになるわけです。

ただし、この方法を使うためには**1つだけ条件**があります。

それは恋愛レベルが最低【普通】以上であるということです。

もし条件を満たさずにこのようなLINEをしてしまうと「何なのいきなり。怖いわ。」となってしまうので注意してください。

上でもお伝えしましたが、好意レベルが【普通】未満の場合は、そもそもデートに行くことが難しいです。

ですので、その場合はデートのことは考えず、まずはこのレポート通りに好意レベルを【普通】以上にすることだけを考えてください。

このレポートでお話してきたノウハウを使うことで、確実にLINEで相手との距離を縮めることができますので自信を持って頑張ってください！

このレポートは以上になります。

いかがでしたか？

師匠がこれまで1000人以上の女性とやりとりをして編み出したメソッドを言語化したものがこのレポートになります。

そのどれもが即効性のあるテクニックばかりなので、今この瞬間からでも試してもらえそうです。

ただ、もしかしたらこれまでNGなことをしてしまっていたかもしれません。

ですが、安心してください。大丈夫です。

好意レベルは LINEだけでも確実に上げていくことができますので、あきらめることなく、自信を持って関係性を向上させていきましょう！

ただ、しつこくするのは絶対にダメですよ。

このレポートでもお伝えしましたが、**相手の立場になって考える（客観視）が何よりも大切**です。

逆に言えば、これができれば、恋愛は成功したも同然です！

頑張ってください！